



Press Release

2026年4月16日

徳島県阿波市

四国電力送配電株式会社

中部電力株式会社

株式会社日邦バルブ

株式会社日野エンジニアリング

徳島県阿波市における電力スマートメーター通信網を活用した 水道栓の遠隔開閉の実証実験の開始

徳島県阿波市（以下、「阿波市」）、四国電力送配電株式会社（以下、「四国電力送配電」）、中部電力株式会社（以下、「中部電力」）、株式会社日邦バルブ（以下、「日邦バルブ」）および株式会社日野エンジニアリング（以下、「日野エンジニアリング」）の5者は、電力スマートメーターの通信網を活用した水道栓の遠隔開閉の実証実験（以下、「本実証」）を本日より開始しましたので、お知らせします。

阿波市では、水道法に基づき、安全性の確保および細菌の繁殖防止の観点から、水道水の滞留による水道管内の残留塩素濃度の低下を防ぐ目的で、管末などにおいて日常的に排水を行っています。

一方で、過剰な排水による有収率^{*}の低下が課題となっており、適切な残留塩素濃度を維持しつつ不要な排水を抑制する、効率的な水道運用の実現が求められています。

本実証では、対象となる管末排水箇所に、水道スマートメーターと日邦バルブおよび日野エンジニアリングが開発する遠隔操作が可能な水道栓（水道スマートバルブ）を設置します。そして、水道スマートメーターから取得した排水量データを、四国電力送配電が提供する電力スマートメーター通信網を通じて、中部電力が提供する中電 MDMS へ連携します。これにより、排水量を把握するとともに、遠隔操作による止水・通水を通じた、水道スマートバルブの実運用への適合性や有収率向上に向けた実効性についての検証を行います。

また、排水量の調整による残留塩素濃度の変化についてもデータを取得し、残留塩素濃度の維持に係る適正な排水量のあり方についても検証を行います。

今後、5者は、水道事業の効率的な運営の実現を目指し、行政サービスにおける課題解決と水道利用者の便益向上に貢献してまいります。

※給水量に対する料金収入のあった水量の割合

実証概要

1. 実証期間

2026年4月～2026年10月

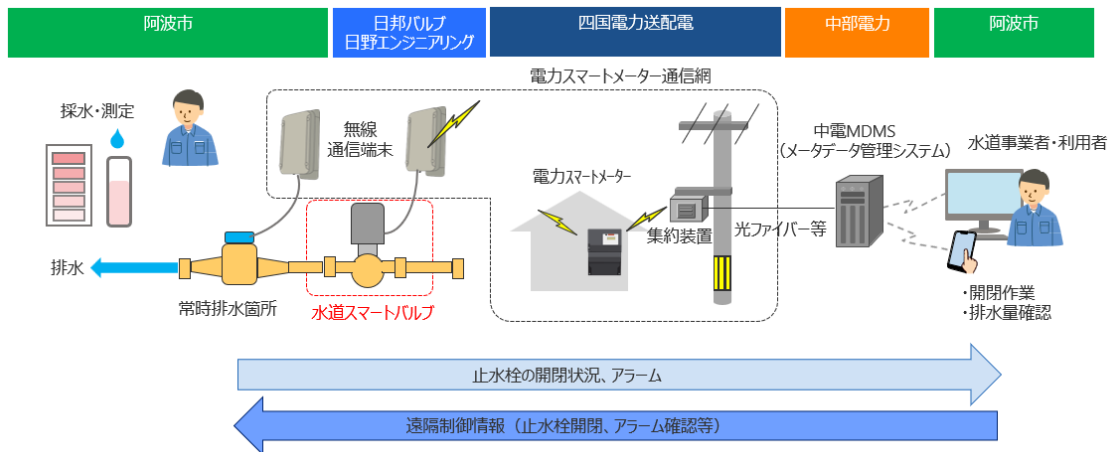
2. 実証箇所

阿波市市場町大俣山路区域 1箇所

3. 実証項目

- ・ 水道スマートバルブの実運用への適合性および有収率向上効果の検証
- ・ 排水量の調整による残留塩素濃度の変化データの取得および残留塩素濃度の維持に係る適正な排水量のあり方の検証

4. 実証イメージ



別紙 水道スマートバルブの概要

以上

<お問い合わせ先>

- 阿波市 阿波市水道部水道課
TEL : 0883-36-5100 FAX : 0883-36-5140
- 四国電力送配電株式会社 総務部 法務グループ (広報担当)
TEL : 087-802-6350 FAX : 087-802-6351
- 中部電力株式会社 広報部 報道グループ
TEL : 052-961-3582 FAX : 052-957-1352
- 株式会社日邦バルブ 技術部
TEL : 0263-58-3265 FAX : 0263-85-5140
- 株式会社日野エンジニアリング 加工部品事業部
TEL : 0266-75-0135 FAX : 0266-75-0136

水道スマートバルブの概要

【水道スマートバルブの特長】

(1) 通信機能

中部電力が提供する水道検針データの管理システムである MDMS (メータデータ管理システム) との通信機能を搭載しています。

なお、この通信方式として、電子式水道メータでも用いられている自動検針メータ通信 (8 ビット電文) を採用しています。

(2) 遠隔開閉機能

MDMS からの指示に応じて、水道栓の開閉操作を遠隔から即時に行うことが可能です。

(3) 状態確認機能

MDMS より水道栓の開閉状態や水道スマートバルブの電池残量等の状態を確認することが可能です。

(4) アラーム機能

水道スマートバルブの電池残量が低下した際に MDMS へアラートを送信することが可能です。

【水道スマートバルブの外観】

